

留萌高校の岩崎さんと成田さん

ふりかけ商品を全国へ

フードG Pの本選に出場

留萌高校（増田康広校長）が、伊藤忠食品株式会社（本社・大阪府、岡本均社長）主催の「未来を創る」第13回全国高等学校フードグランプリの商品開発部門で本選出場を決めた。フードグランプリは、高校生の2部門で構成されている。

今大会には、各部門合わせて全国から過去最多となる60校169商品の応募があった（部門ごとの応募数は非公表）。留萌高が本選出場を決めた商品開発部門ではチーム名「チムカズ」ノコとして、いずれも情

依さん、岩崎美翔さんが出場に向け意気込んでいる。出品する「カズチー親子ふりかけ」は、今年3月に留萌高を卒業した三枝伶奈さん、橋本伶奈さんが課題研究で開発に着手。井原水産株式会社（同・留萌市、勝田恵介社長）の協力を得て完成させた。

同商品は同社で販売している「カズチー」「にしんかすの親子南蛮味噌」を使用。南蛮みそのため少し辛みがあるが、チーズが入っているため、そこまで強くない。食感はいしっとりで、カズノコのプチプチ感も楽しめる。

2人は「カズチー親子ふりかけを流通に乗せ、留萌をもっと有名にしたい」「より多くの人に商品や留萌を知ってもらいたい」という強い思いから、全国規模のフードグランプリへの応募を決めた。



全国高等学校フードグランプリ本選に出場する留萌高校の岩崎さん（左）、成田さん



留萌高校卒業生が考案した「カズチー親子ふりかけ」

予選審査は2段階あり、1次予選は主催者側に提出して行われる書類・試食審査、2次予選は井原水産が作成に協力した、20項目に及ぶ品質管理チェックシートに基づいた審査を実施。これらの厳しい過程をクリアし、全国の狭き門をくぐり抜けて本選切符をつかみ取った。

吉報を受けた当時を振り返り、成田さんは「大手企業が主催する大きなグランプリなので、敵しいかなど思っていました。通過したときは本当にうれしかったです」と話し、岩崎さんも「規模が大きいので通らないかなど思っていました。が、一生懸命考えていたので、まさかと思った。本当に良かったです」と喜びを語った。

みどり保育園で人形劇

クレヨン 大きなカブを鑑賞

工作指導などを行う「クレヨンカンパニー」の降幡 認定こども園みどり保育園



カブ」

（竹内美和園長）で人形劇上演、影遊びを披露した。降幡代表は空知管内由仁町を拠点に活動。毎年みどり保育園、市内の同沖見保育園（永井美幸園長）を訪問して人形劇上演などを行っており、園児に一めがねおじさん」の愛称で親しまれている。

歌声に合わせてダンス

ステージ発表は、オロロを披露したほか、カラオケで「キッスは目にして」

（森康太）